



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 日本精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7287 URL http://www.nippon-seiki.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 博俊
 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 事業管理本部事業統括部 (氏名) 渡辺 桂三 (TEL) 0258(24)3311
 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	174,043	△3.5	12,750	△12.5	13,867	△11.4	9,115	0.7
28年3月期第3四半期	180,292	8.7	14,580	19.3	15,660	△19.4	9,049	△23.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 5,881百万円(52.8%) 28年3月期第3四半期 3,850百万円(△85.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	159.19	158.98
28年3月期第3四半期	158.02	157.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	290,025	166,665	54.9
28年3月期	292,130	164,847	52.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 159,223百万円 28年3月期 154,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
29年3月期	—	17.00	—		
29年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	△1.5	15,500	△14.3	17,000	3.8	10,500	14.8	183.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年2月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	60,907,599株	28年3月期	60,907,599株
29年3月期3Q	3,647,036株	28年3月期	3,640,769株
29年3月期3Q	57,264,239株	28年3月期3Q	57,269,968株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、米国では個人消費の拡大を中心に底堅く推移し、欧州においても堅調な個人消費により緩やかな回復基調が続きましたが、アジアでは中国経済の減速が継続するなど、全体としては緩やかな回復にとどまりました。わが国経済においても、雇用は改善傾向にあるものの、依然として停滞する個人消費などから力強さを欠く状況となりました。一方、金融市場は6月の英国国民投票を契機に進んだ円高傾向から一転して11月の米国大統領選挙以降に急速なドル高・円安が進行するなど、目まぐるしい変動に見舞われました。

このような状況において、当社グループは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる企業体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」（コスト・技術・物流・サービス）の強化と同時に、営業・設計・経営管理など、あらゆる面でのグローバル化を目指し、変化に柔軟かつ迅速に対応できるよう「経営のグローバル化」を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、174,043百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は、12,750百万円（前年同四半期比12.5%減）、経常利益は、13,867百万円（前年同四半期比11.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9,115百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。なお、当第3四半期連結会計期間における為替相場の変動で、主に当社が保有する外貨建資産負債を平成29年3月期第3四半期末の為替相場で評価したこと等により為替差益5,160百万円を計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、四輪車用計器が米州、アジアで増加したものの欧州向けが減少し、売上高137,936百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益10,509百万円（前年同四半期比20.2%減）となりました。

民生機器事業は、アミューズメント向け基板ユニット等の減少により、売上高8,761百万円（前年同四半期比21.0%減）となりましたが、営業利益は98百万円（前年同四半期は442百万円の営業損失）となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が減少し、売上高14,641百万円（前年同四半期比7.4%減）となりましたが、営業利益は609百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

その他は、売上高12,703百万円（前年同四半期比0.0%減）、営業利益1,718百万円（前年同四半期比32.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,105百万円減少し、290,025百万円となりました。これは流動資産で現金及び預金が49,047百万円、たな卸資産が4,484百万円増加しましたが、投資その他の資産で、長期預金が57,402百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,923百万円減少し、123,360百万円となりました。これは流動負債で支払手形及び買掛金が2,452百万円増加しましたが、短期借入金が10,271百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,818百万円増加し、166,665百万円となりました。これは為替換算調整勘定が3,803百万円減少しましたが、利益剰余金が7,111百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業況等を勘案し、平成28年11月7日発表の業績予想を修正しております。

詳しくは、本日（平成29年2月7日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合があり得ることをご承知おき下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,861	107,909
受取手形及び売掛金	47,261	48,434
商品及び製品	13,091	13,747
仕掛品	3,600	4,106
原材料及び貯蔵品	18,917	22,238
その他	12,250	11,454
貸倒引当金	△189	△297
流動資産合計	153,792	207,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,290	14,721
機械装置及び運搬具(純額)	14,712	13,721
工具、器具及び備品(純額)	4,991	4,694
土地	16,148	16,485
リース資産(純額)	254	259
建設仮勘定	2,155	2,852
有形固定資産合計	53,552	52,735
無形固定資産		
のれん	6	1
その他	3,662	3,643
無形固定資産合計	3,669	3,645
投資その他の資産		
投資有価証券	19,302	21,423
長期預金	58,122	719
その他	3,702	3,918
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	81,115	26,050
固定資産合計	138,338	82,430
資産合計	292,130	290,025

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,760	35,212
短期借入金	61,693	51,421
未払法人税等	1,327	1,520
賞与引当金	2,132	2,210
役員賞与引当金	70	164
製品補償損失引当金	580	579
受注損失引当金	19	0
訴訟損失引当金	870	899
その他	12,750	15,662
流動負債合計	112,205	107,672
固定負債		
長期借入金	8,460	9,014
役員退職慰労引当金	223	220
退職給付に係る負債	2,985	3,038
資産除去債務	68	64
その他	3,341	3,349
固定負債合計	15,078	15,687
負債合計	127,283	123,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,473	6,473
利益剰余金	120,432	127,543
自己株式	△6,314	△6,327
株主資本合計	135,085	142,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,032	5,495
為替換算調整勘定	15,487	11,683
退職給付に係る調整累計額	△116	△139
その他の包括利益累計額合計	19,403	17,039
新株予約権	80	95
非支配株主持分	10,277	7,346
純資産合計	164,847	166,665
負債純資産合計	292,130	290,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	180,292	174,043
売上原価	142,698	140,416
売上総利益	37,593	33,626
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,952	4,068
従業員給料	8,818	7,156
貸倒引当金繰入額	1	114
賞与引当金繰入額	481	560
役員賞与引当金繰入額	166	164
製品補償損失引当金繰入額	43	42
退職給付費用	335	298
役員退職慰労引当金繰入額	30	30
その他	9,183	8,439
販売費及び一般管理費合計	23,013	20,876
営業利益	14,580	12,750
営業外収益		
受取利息	1,324	1,261
受取配当金	284	299
その他	713	377
営業外収益合計	2,322	1,938
営業外費用		
支払利息	240	181
為替差損	957	566
その他	44	73
営業外費用合計	1,242	821
経常利益	15,660	13,867
特別利益		
固定資産売却益	77	22
投資有価証券売却益	—	18
特別利益合計	77	40
特別損失		
固定資産売却損	14	5
固定資産除却損	32	75
特別損失合計	47	81
税金等調整前四半期純利益	15,691	13,827
法人税、住民税及び事業税	5,081	4,913
法人税等調整額	697	△816
法人税等合計	5,778	4,097
四半期純利益	9,912	9,730
非支配株主に帰属する四半期純利益	862	614
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,049	9,115

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	9,912	9,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	1,463
為替換算調整勘定	△6,142	△5,288
退職給付に係る調整額	△3	△22
その他の包括利益合計	△6,061	△3,848
四半期包括利益	3,850	5,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,005	6,751
非支配株主に係る四半期包括利益	△154	△869

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車 及び汎用 計器事業	民生機器 事業	自動車 販売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	140,670	11,096	15,819	167,585	12,706	180,292	—	180,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	20	20	11,402	11,422	△11,422	—
計	140,670	11,096	15,839	167,605	24,108	191,714	△11,422	180,292
セグメント利益又は損失(△)	13,168	△442	607	13,333	1,293	14,627	△46	14,580

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車 及び汎用 計器事業	民生機器 事業	自動車 販売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	137,936	8,761	14,641	161,340	12,703	174,043	—	174,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	28	28	11,837	11,865	△11,865	—
計	137,936	8,761	14,669	161,368	24,541	185,909	△11,865	174,043
セグメント利益	10,509	98	609	11,217	1,718	12,936	△185	12,750

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△185百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。